

平成 26 年度 学校評価・学校関係者評価実施結果報告書

岡山県理容美容専門学校

1. 教育目標

本校は、実践的な理容・美容の職業教育を行い、これからの社会のニーズに対応できる優れた理容師・美容師を養成する理容美容専門学校である。

そのためには、一人一人の学生に基礎技術から専門的な技術・技能・知識の修得が出来るよう教育環境を整え、その中で理容・美容業の厳しさや楽しさなども体得させながら、理容・美容業に誇りを持った学生の育成に努めなければならない。そして、何より、理容・美容業がお客様に満足してもらえ技術とサービスを提供する業であることを認識させなければならない。

そこで、本校では従来から次の教育目標を掲げている。

- ・誠意----すべてのお客様に対して、真心を持って接することができるよう、日常において接客の心構えを持たせる。
- ・熱意----いかなる時でもお客様が満足できる結果が得られるよう、一生懸命頑張れる精神力を養う。
- ・創意----お客様に満足してもらえ必要な知識、技術、快適な施設や設備など、常日頃からよりよいものを創り出そうとする意識を持たせる。

これらの教育目標は、在学中はもとより理容・美容業に従事する上で、生涯持ち続けてほしいと願っている。

2. 本年度の重点目標と計画

平成 26 年度教育課程における指導法

① 国家試験の全員合格

理容科、美容科学士の国家試験全員合格を目指す。また、各種検定の積極的受検を奨励する。

② 研究授業の実施と教職員研修の充実

カリキュラムに沿った教材研究及び教案に基づいた授業展開を通して、学生の理解力向上と授業内容を検討する。また、そのための校内外の教職員研修を充実させる。

③ 新しい技術課題への取組み

まつ毛エクステンションの技術は、厚生労働省健康局生活衛生課長より美容師の業務であると通知されたことをふまえて、本校教師にこの技術を修得させて実践教育に役立てさせる。

④ 学生の校外外での諸活動の奨励

各種コンクールなどへの積極的参加によりモチベーションアップと技術向上を促す。また、社会貢献活動を通じて、社会の一員であることを認識させる。

⑤ 学生募集

安定した学校教育を行うためにも、理容科・美容科の定員充足率を向上させる。そのため様々な方策で広報活動を強化する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

番号	評価項目	評価
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④ 3 2 1 0
1-2	学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1 0
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1 0
1-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

本校の学生アンケートでは、学校の教育理念や目的は約95%、学校の特色いわゆるアピールポイントは約96%の高い肯定度があり、教職員も理念・目的・育成人材像を認識、理解して教育活動を行っている。今後は、TPPなどで理容師・美容師の資格制度の変更や修整がなされた場合、理容・美容業がどうなるのか、現時点では予測がつかないため将来構想が描きにくい面がある。

② 今後の改善方策

保護者に対して、学校の理念・目的・育成人材等、後援会等を通して周知に努めたい。

(2) 学校運営

番号	評価項目	評価
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1 0
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1 0
2-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか有効に機能しているか	④ 3 2 1 0
2-4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	④ 3 2 1 0
2-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1 0
2-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1 0
2-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1 0
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

評議員会、理事会により学校運営は健全に行われている。また、教員組織も正常に機能し、職員会議において教職員の意思決定及び共通認識は十分に図られている。

② 今後の改善方策

授業の様子や校内・校外技術コンクールなどの活動や結果を連絡すると共に、なお一層の学校情報をホームページ上で公開する。情報システム化では、効率よい教育環境維持のためパソコン、コピー機等の機器を、順次新しいOA機器に変更していく。

(3) 教育活動

番号	評価項目	評価
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1 0
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1 0
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1 0
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1 0
3-5	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置付けられているか	④ 3 2 1 0
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1 0
3-7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1 0
3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1 0
3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1 0
3-10	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1 0
3-11	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1 0
3-12	職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

教育課程の編成は、理容師養成施設指定規則及び美容師養成施設指定規則の定められた基準により、カリキュラムの大幅な変更は出来ないが、理容生活衛生同業組合、美容生活衛生同業組合と連携し、魅力ある授業・教材の導入と実践教育並びに理容師美容師の全員国家資格取得を目指して取り組んでいく。なお、非常勤講師による授業についての評価体制が若干弱いと思われる。

② 今後の改善方策

教師の指導力向上のため研究授業の回数を増やし、授業のあり方・進め方、授業の効率化や、わかりやすい授業、覚えやすい技術指導の方法などを目指して教師の指導力の研鑽に励む。また、非常勤講師と副任教員が連絡を取り合い分かりやすい授業に努める。

(4) 学修成果

番号	評価項目	評価
4-1	就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1 0
4-2	資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1 0
4-3	退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1 0
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

学修成果では、理容科・美容科とも国家試験合格率が毎年全国平均を上回る成果をあげている。また、就職率は希望者全員が就職を達成するなど良好である。

しかし、退学や休学が目立つケースが増えてきている。

② 今後の改善方策

退学や休学などの対策としては、担任面談や校長面談を早い段階から行い、悩みや不安の解消また様々な相談にのっているが、より一層の細かい対応をしていくと同時に理容・美容の職業としての楽しさなど話し合い、当初の目標を再確認させていく。

(5) 学生支援

番号	評価項目	評価
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1 0
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1 0
5-7	保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1 0
5-8	卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1 0
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1 0

おいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

校医による定期健康診断や結核検診など健康管理を行っている。また、授業は前期後期制ではあるが、授業料については月ごとの納入とし経済的負担を少しでも軽減している。課外

活動では、校外コンクールなどの出場者には、モデルウィッグや材料など後援会と協力して支援している。今後も可能な限り、学生の理容・美容に対する意欲向上に支援していく体制が求められる。なお、学生アンケートでは、後期において就職などの進路指導の低下が指摘されている。

② 今後の改善方策

2年の後期では、国家試験対策中心の授業となり忙しさのあまり就職などの進路指導が不十分と思われる。今後は、対策授業と並行して進路指導の強化を行っていく。

(6) 教育環境

番号	評価項目	評価
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1 0
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1 0
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

学生アンケートの結果でも施設・設備の評価は大変高い。また、インターンシップでは、理容所・美容所の全面的支援のもと現場の実習体験を通して、その成果をあげている。

なお、エコ対策や環境にやさしい施設の配慮もシャンプー実習の軟水や学習時のLED照明、温湯のエコキュートなどを取り入れているが、この点に関しては学生に対する周知が不十分と思われる。

② 今後の改善方策

本校のエコ対策や環境にやさしい施設は、今以上広報活動を行う。また、防災に対する意識は低いと思われるので、今後は、防災教育・避難訓練等の強化に取り組む。

(7) 学生の受入れ募集

番号	評価項目	評価
7-1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	④ 3 2 1 0
7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1 0
7-3	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	④ 3 2 1 0
7-4	学生納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

岡山県内の高等学校には、年に2回～3回訪問して本校の現状や在校生の状況を報告した。

また、進路課に募集要項を配布するとともに、高校内で実施する進学相談会に参加し高校生には進路説明を行った。高等学校に対する情報提供等は、高校の先生方や高校生と直接話し合うことが効果的であることから、さらにより多くの機会を捉えて高校訪問を行うことが求められる。

③ 今後の改善方策

今後も、あらゆる機会を利用して高等学校には、本校の現状と在校生の様子並びに募集要項について情報提供していく。

(8) 財務

番号	評価項目	評価
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1 0
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1 0
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1 0
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

本校の学園会計を指導する指吸会計センターによると、学園会計は健全経営であり財務基盤は安定していることの報告を受けた。また、予算・収支計画においても適正であることの監査報告を受けている。なお、これからもより一層の透明性と健全経営を計っていくことが求められる。

② 今後の改善方策

財務情報公開の体制整備が遅れていたため、ホームページ等を利用して情報公開を行っていく。

(9) 法令の遵守

番号	評価項目	評価
9-1	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1 0
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1 0
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1 0
9-4	自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

理容師養成施設指定規則・美容師養成施設指定規則及び専修学校法に基づき適正に運営を行った。個人情報保護対策はセキュリティソフトの導入や書類管理の徹底など行っている。

② 今後の改善方策

自己評価での問題点や学校関係者評価での提言を受け入れて、よりよい学校づくりに励むと同時に、開かれた学校として、関連業界の団体、組織、理容・美容所の個人経営者とも情報交換をしながら学校経営の改善に努めていく。

(10) 社会貢献・地域貢献

番号	評価項目	評価
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1 0
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

③ 特記事項

本校では、物理的・時間的に許す限り社会貢献・地域貢献や他の教育機関との連携授業並びに施設使用の提供を行っている。

- ・ 豪雨災害時における緊急避難場所-----岡山市大元学区連合町内会
- ・ チャレンジワーク！お仕事体験教室-----岡山市立福田公民館
- ・ 理容科交流実習-----岡山県立岡山豊学校
- ・ 3年生対象社会人講座(メイク)-----岡山県立津山工業高等学校
- ・ うらじゃ祭り(うらじゃ踊り参加とメイクボランティア)---うらじゃ実行委員会
- ・ 65歳以上の親睦会場-----岡山市北区大元「若草町 よつ葉サロン」

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

平成26年度の学校運営について、在学者数並びに平成27年度入学者数は順調であり学園財務状況も岡山県理容美容専門学校の経営的基盤を維持している。また、教育課程においても教員は指導法の研究や実践的技術、新しい技術・技能の修得に励み、岡山県理容生活衛生同業組合・岡山県美容生活衛生同業組合の支援を受け、優れた理容師・美容師の養成という目的を概ね達成している。今後とも、学校関係者評価委員会並びに教育課程編成委員会の改善や提言についての意見を積極的に反映し、平成27年度の学校運営に活用していくこととした。